

HEART REPORT

ビジョン[ハートレポート]

第58期 報告書

平成26年2月1日～平成27年1月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のビジョンからこんにちは!
- P.07 当連結会計年度の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第36回 未来の科学の夢絵画展
幼稚園・保育園の部 奨励賞

『タイムスリップ』

この腕時計をつけるとうろんな時代に

タイムスリップすることができるよ!

みんなは赤ちゃんに戻りたい?それとも

おじいちゃんおばあちゃんになりたい??

鶴見菊水幼稚園(大阪府)

榎 都飛くん



経営理念は「愛」 社是は「愛を生むは愛のみ」

代表取締役社長

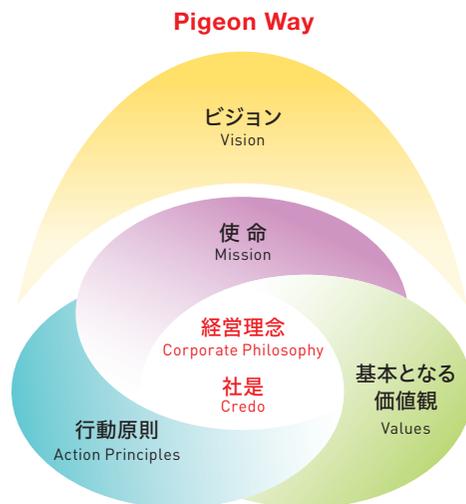
山下 茂



Pigeon Way

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。



■ 経営理念

「愛」

■ 社是

「愛を生むは愛のみ」

■ ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿

世界中の赤ちゃんにご家族に最も信頼される育児用品メーカー
“Global Number One”

■ 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、また、何のために働くのかを約束するもの

- 「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、世界中の赤ちゃんにご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

■ 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

- 誠実 (Integrity)
- コミュニケーション・納得・信頼 (Communication, Consent, Trust)
- 熱意 (Passion)

■ 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

- 迅速さ (Agility)
- 瞳の中にはいつも消費者 (Keep sight of consumers)
- 強い個人によるグローバルコラボレーション (Global collaboration among competent individuals)
- 主体性と論理的な仕事の仕方 (Leadership and logical working style)
- 積極的な改善・改革志向 (Willingness to change)

第58期決算の総括・評価について

当期決算は、引き続き中国事業を中心に海外での事業拡大が牽引し、連結売上高は841億13百万円(前期比8.6%増)、経常利益は132億99百万円(前期比20.9%増)、当期純利益は84億51百万円(前期比21.0%増)と、好調な業績をおさめることができました。昨年3月に策定した3ヶ年の中期経営計画の初年度として、順調に推移した1年だったと思います。

中国事業は、円安による追い風効果を除いても、既存カテゴリを軸に順調に業績を拡大しました。ピジョン・ブランドが根付いた中国は、哺乳びん・乳首等既存商品の好調な販売に加え、女性ケア関連商品等の新商品発売効果もあり、引き続き堅調に推移し、国内ベビー・ママ事業を上回る売上・利益両面で最大の業績貢献となりました。またインドは、2016年1月期には売上規模が10億円に達する見込みで利益貢献を望めるまでに成長したほか、哺乳びんの販売を始めた北米など、ランシノ・ブランドで展開する欧米でも好調な業績で推移しております。

成長著しい海外事業もその礎は、国内事業での成功モデルです。国内ベビー・ママ事業では、売上が横ばいの中、効率的なマーケティング費用の投入で、セグメント利益は前期比10.0%の増益となっています。子育て支援事業や、営業部門の統合を図ったヘルスケア・介護事業でも、効率経営を推し進め、国内3事業のすべてにおいて、収益性が改善しました。

海外事業展開について

海外展開の礎が国内事業の成功にあるように、中国以外の地域への展開に際しては、中国での経験が非常に大きな意義を持っています。一方、当然のことながら中国でのモデルがすべての市場で通用するわけではなく、各市場の特性に合わせた調整も求められます。

年間出生数が中国を上回る2,600万人と言われ、大きな成長可能性を持つインドでは今年3月より哺乳びん・乳首を生産する現地工場が操業を開始しました。中国同様、病産院ルートを活用した効果的なブランド確立を進める一方で、ターゲット顧客層の地理的分布やベビー用品の流通形態、さらには消費者の育児関連への出費の考え方など、長年1人っ子政策を実施してきた中国とインドとは大きく様相も異なっています。今般の現地生産開始を機にインド市場の事業拡大にはずみがつき、中国よりは時間を要するものの、中長期スパンでインドを大きな事業の柱に育てていきます。

また、哺乳びん・乳首の展開を始めたロシアでは、現地の権威ある病産院や医師達との取り組みの中で当社商品を推奨いただく仕組みも構築されました。急激なルーブル安の進行による景気後退の懸念はあるものの、事業拡大に向けた種を育てていきたいと思えます。

さらに、昨年現地法人を設立したブラジルは、欧米メーカーな

ど競合が多くブランド構築がカギとなりますが、地道な基礎研究・行動観察に基づく商品を武器にして拡大を狙っていきます。

海外展開の拡大にはスピードが重要です。現場に近い部門・拠点、全体最適の視点で迅速に意思決定をしていくには、理念や価値観といったぶれない軸をグローバルで共有しなければなりません。そこで昨年3月、基本となる価値観や行動原則等を『Pigeon Way』として明文化し、全世界のグループ社員と共有しました。策定から約1年、さまざまな場面で、この『Pigeon Way』が従業員同士の議論の軸となっていると感じ取っています。

企業価値向上に向けて

昨今、企業価値については、経済的価値と社会的価値の双方を合わせた「共通価値(CSV)」という考え方を耳にする機会が多くなっています。ピジョンの社会的価値は、世の中の課題・問題に対するソリューションの提供を通じて、お客様や世の中の皆様へ喜びや感動を創出すること、「世の中になくはならない会社」となることです。そのためにグローバルで社会的使命やビジョンを共有し、開発力、ブランド、マーケティング力、イノベーション力といった資産を活かし、社会的価値を創出しています。

一方で経済的価値については、企業価値の算出に使われる「フリー・キャッシュ・フロー」の効率的な拡大が大切だと考えます。成長に必要な投資を優先し、透明性ある形で皆様にご報告しながら、中期的には連結総還元性向45~50%を目処に剰余金を株主の皆様へ還元します。この方針に基づき、当期は1株当たり年間配当金を105円とさせていただきます。当社は、経営品質の一層の向上のため、資本生産性も考慮しながらフリー・キャッシュ・フローの増加を図り、株主の皆様への利益還元の向上を目指してまいります。

コーポレート・ガバナンスの考え方

もともと、創業者の熱い想い・DNAを同族経営という形で引き継いできたピジョンですが、株式公開を経て、真の意味でのパブリックカンパニーとして成長し、今般、当社初の社外取締役を選任し、株主総会でご承認いただきました。ガバナンスの強化に関しては、スピード感を持った現在の事業展開を阻害することなく、透明感の高い体制を整備することが重要です。一般的に、社外役員に期待する役割としては、経営を監督するモニタリング機能と、外部の多様な意見を経営に反映させるアドバイザー機能がありますが、当社では監査役が、株主の視点から、監査役の法的な役割である適法性について監督するにとどまらず、企業価値向上の視点からも経営判断に対する妥当性を監督するモニタリング機能を十分果たしてきました。

一方で、今後、ガバナンスをさらに強化する上では、独立・客観的立場から妥当性をチェックし、社外のステークホルダーの代表として、経営戦略の助言と意思決定の客観性を担保し、企業価値の向上を図るため、社外取締役の人選を進めてきました。

その結果、株主や投資家の皆様が目線に立った見方のできる方がふさわしいであろうとの判断から、今般、経営コンサルティング会社および投資運用会社における豊富な経験を有する新田孝之氏を選任する運びとなりました。こうした、いわば投資家の代弁者ともいえるバックグラウンドをお持ちの方を社外取締役に選任するケースは、稀有な事例かと思えます。新田孝之氏には、客観的な立場から意思決定プロセスに加わっていただくと同時に、資本効率を意識した株主重視の経営を行うためのアドバイザー機能としての役割を期待します。株主の皆様におかれましては、引き続き当社へのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

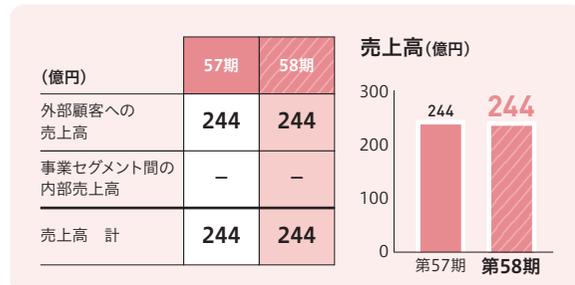
国内ベビー・ママ事業



- 哺乳関連用品
- 離乳関連用品
- スキンケア用品
- 女性ケア用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- ベビー大型用品

● 事業環境と当社の強み

日本の2014年の出生数は前年より2万9千人少ない100万1千人となりました。一方、国内は緩やかな景気回復傾向となりましたが、消費税の増税もあり、先行きの不安感を完全には払拭しきれず、対象顧客層による買い控えや低価格志向は強まっています。そのような中、ピジョン商品は、半世紀以上にわたる赤ちゃんの哺乳研究や、乳幼児発達研究から生まれる絶え間ない商品開発と改良により、「安全・安心・信頼」のブランドとして広く認知され、高いシェアを得ています。今後は大型商品事業の確立と拡大、女性ケアカテゴリの育成をはじめとした商品カテゴリの拡充、および既存分野における収益性の向上を図ります。



子育て支援事業



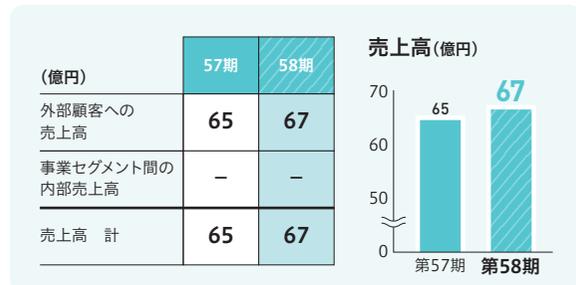
- 保育サービス
- 事業所内保育運営受託
- 託児
- ベビーシッターサービス
- 幼児教育サービス

● 事業環境と当社の強み

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、具体的には保育園の開設、多様な保育サービスの充実を図るなど、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安全・安心・信頼」のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進しています。国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後も、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図ります。



ヘルスケア・介護事業

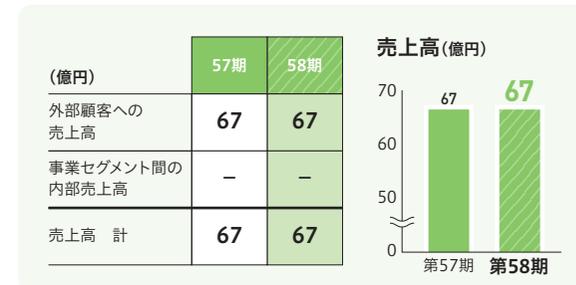


- 介護用品
- 老化予防用品
- 介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で、高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2013年に25.1% (4人に1人)、2035年には33.4% (3人に1人) が65歳以上の高齢者となるといわれています。競合各社の商品や営業活動も活発で新規参入事業者数も増加しています。品質に厳しい育児用品で培った実績、信用、ブランドをこの分野でも活かした展開を図っており、お客様の“お困りごと”に応える商品企画力、品質管理レベルの高さが当社の強みです。

今後は、重点商品カテゴリを深耕することにより、商品競争力の向上を図り、施設ルートを中心とした営業活動を展開します。



海外事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

アジア …韓国・シンガポール・インド 他 (中国を除く) **中近東** …アラブ首長国連邦 他
北米 …アメリカ・カナダ 他 **その他** …南アフリカ・イギリス・ドイツ・南米 他

● 事業環境と当社の強み

米国の出生数は、経済先進国の中では比較的安定した水準にあり、母乳育児が推奨され母乳への関心が高まるにつれて、母乳関連商品の需要が上昇しています。

ピジョンは、米国および欧州への営業展開の基盤として、2004年4月に米国ヴァージニア州に拠点を持つ LANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」) を100%グループ会社化し、中長期的視点で取り組んでいます。

アジアではタイの生産拠点の拡充に続き、インドでは流通体制の構築や販売店舗の拡大を推し進め、2015年3月には、哺乳びん・乳首の生産工場も操業を開始し、さらなる収益改善を目指しております。また2014年3月には、ブラジルにも現地法人を設立し、市場参入に向けた活動を行っております。

今後は、欧米での事業拡大が進んだランシノ社による販売を強化するとともに、新興国での展開もさらに積極化させていきます。



(億円)	57期	58期
外部顧客への売上高	168	191
事業セグメント間の内部売上高	34	42
売上高 計	203	233



中国事業

○ベビー、ママ関連用品

● 事業環境と当社の強み

ピジョンは、2014年に中国市場への本格的参入12周年を迎えました。年間出生数が1,500万~1,700万人で日本の14~16倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳びん・乳首やトイレタリー関連商品を中心に新しいライフスタイルの提案もあわせて事業を展開しています。

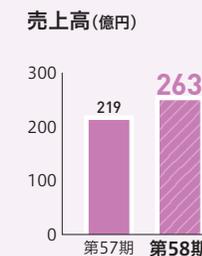
現地に根付いているパートナー企業の販売網を通じてピジョン・ブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ており、売上高も年々伸長しています。

中国は沿岸部と内陸部では収入格差などが認められますが、中国全土への展開を進めた結果、すでに内陸部での売上高が沿岸部の大都市である上海、北京、広州での売上高を上回っており、今後もさらに伸長していくことが期待されます。

今後も、病産院などへの普及活動の強化とともに、生産コストの管理および安定供給体制の構築も一層進めていきます。



(億円)	57期	58期
外部顧客への売上高	216	257
事業セグメント間の内部売上高	2	5
売上高 計	219	263



※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨ててあります。



ところ変われば **育児も変わる。**



ダブルポンプ型の
電動さく乳器 ▶

世界各国の育児事情

vol.2

U.S.A

■ 母乳育児をサポートする ラクテーション・コンサルタント

日本同様に米国でも、妊娠中の女性の多くはプレママ講座の受講などを通じて出産に備えます。こうした講座で必ず触れられるトピックスの1つが、母乳育児です。産前・産後を通して、母乳育児の大切さを伝え、さらには授乳指導・母乳相談などの、母乳育児全般を支援する専門家を「ラクテーション・コンサルタント」と呼びます。産科医・小児科医や看護師、助産師、さらには医療スタッフではないものの自らの経験をもとに出産前後のママを支援する方々が、ラクテーション・コンサルタントとして、ママの母乳育児をサポートしています。

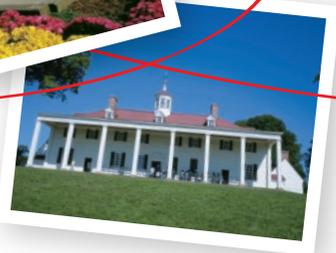


■ 米国で「ダブルポンプ型の電動さく乳器」が 普及しているのはなぜ？

日本ではなかなか見ることがないダブルポンプ(両乳同時さく乳)型の電動さく乳器。実は米国では、最も普及しているのがこのタイプのさく乳器です。米国では、さく乳器は産後育児の必須アイテムとして広く普及しており、その背景には、社会制度や風土の違いがあるようです。他国に比べ産後休暇(無給)が最長3ヶ月間と短い米国では、産後すぐに訪れる母子分離に備えて小売店や保険会社などを通じてさく乳器を買い求める女性が多くいます。産後3ヶ月といえば、母乳の分泌が最も多い時期。母乳育児の大切さを理解し、できることならば復帰後も赤ちゃんに母乳を与え続けたい——。そんな米国のママのニーズを満たすのが、シングルポンプ型や手動タイプに比べて時間が節約でき効率が良い「ダブルポンプ型の電動さく乳器」なのでしょう。ベビーシッターが普及している米国では、働くママに限らず、子どもを預けて出かけるママも多く、そのようなときでも母乳を与えられるようにと、さく乳器は欠かせないアイテムの1つとなっています。



▲豊かな自然の中にある
アレクサンドリア市庁舎



◀米国の初代大統領
ジョージ・ワシントンの生家

世界のピジョンからこんにちは！



米国で高い認知度と
評価を得ている
ランシノ社の商品群▶

LANSINOH LABORATORIES, INC.

ランシノ ラボラトリーズ インク
(米国 ヴァージニア州 アレクサンドリア市)



●従業員数 ----- 116人
●事業内容 ----- 欧米における
母乳育児関連用品の販売
2015年2月現在

■ピジョングループの成長はまだこれから。今後のさらなる発展を期待しています。

株主の皆様、こんにちは。

LANSINOH LABORATORIES, INC. (以下、ランシノ社)のCEO・Kevinです。

2004年にピジョンがランシノ社を100%グループ会社化する以前に入社し、今年で入社14年目となります。ランシノ社は、母乳育児中に満足できるニップルケアクリームに出会えなかった創業者が、自らクリームを開発して創業した会社です。そのニップルケアクリームは、設立後30年を経た今もなお、世界70カ国のお客様からご愛顧いただいている当社の看板商品となっています。この他にも、母乳パッド、母乳保存バッグ、さく乳器といった、母乳育児関連商品をラインナップに揃え、ランシノ社はピジョングループの海外展開を支える重要なブランドとなっています。

ランシノ社の強みは、なんといっても商品が「高品質」であ

る点と、常にイノベーションを図っている点です。少子化が進む市場もありますが、この強みを最大限活用しながら、新規カテゴリへの参入でさらなるシェア拡大を図ると同時に、新たな地域にも進出し、成長を加速していきます。

ランシノ社、そしてピジョングループはさらなる成長の余地が非常に大きいと考えます。グループ会社としてピジョンの経営理念である「愛」を共有し、ランシノ社の成長を通じて企業価値の向上に向けて邁進してまいります。



LANSINOH
LABORATORIES, INC.

CEO
Kevin Vyse-
Peacock

当連結会計年度の経営成果

売上高は、引き続き中国事業を中心とした海外での順調な業績拡大などにより、841億13百万円(前年同期比8.6%増)となりました。利益におきましては、増収に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働率向上などにより、売上原価率が前年同期比で約1.0ポイント改善したことなどで、営業利益は127億80百万円(前年同期比23.3%増)、経常利益は132億99百万円(前年同期比20.9%増)となりました。商品自主回収によるリコール関連損失(特別損失)を1億4百万円計上したものの、当期純利益は84億51百万円(前年同期比21.0%増)と、それぞれ前年同期実績を上回りました。

国内ベビー・ママ事業

売上高は、244億32百万円(前年同期比0.1%減)となりました。セグメント利益は、新商品を含めた内製品の生産増加による生産子会社での原価低減や、マーケティング費用の見直しなどにより、販売費及び一般管理費が減少したこともあり、前年同期実績を上回る37億52百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

2014年2月に赤ちゃんの快適にこだわった両対面式ベビーカー「Mahalo laule'a (マハロ ラウレア)」、母乳で育てたいママのストレスを軽減し、母乳育児を快適にする「さく乳器 電動」「さく乳器 電動First Class」、3月に赤ちゃんの胎脂に近い保湿成分を使用した「ピジョン ベビースキンケアシリーズ」、さらに8月には月齢7ヶ月頃からのお子さまに向けたヨーグルト味の乳性飲料「ぶちグルト」、12月には16.5cmの大径シングルエアタイヤで段差をラクラク乗り越えられるベビーカー「Runfee (ランフィ)」などを発売しています。

また、ダイレクト・コミュニケーションのイベントとして、出産前の方を対象とした「おっぱいカレッジ」、妊娠準備期の方を対象とした「働く女性の妊トレ女子会」などを当連結会計年度内において40回開催し、合計で約2,120名の方にご参加いただきました。その他にも、母子に寄り添う子育て

中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのセミナーを10回開催し、合計で約1,030名の方にご参加いただいております。その他「親子で楽しむイクメンイベント」や、新型ベビーカー「Runfee (ランフィ)」の記者発表会を実施しており、商品や情報提供、イベント開催を通じて妊娠・出産・育児シーンのご家族を応援するとともに、今後も確実な事業拡大を目指していきます。

子育て支援事業

売上高は67億22百万円(前年同期比1.9%増)となりました。セグメント利益は、保育士不足による採用費用増などがあるものの、販売費及び一般管理費の効率的な使用に努め、前年同期実績を上回る1億89百万円(前年同期比7.9%増)となりました。なお、事業所内保育施設につきましては4箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、堅調に売上を拡大しました。また幼児教育施設においては、2014年4月より導入している数学的体験プログラム「Mathプログラム」がご好評をいただいています。

ヘルスケア・介護事業

引き続き消耗商品における競争激化が進む中、売上高は前年同期実績をやや上回る67億61百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

セグメント利益は、商品、販売チャネルの特性に合わせたマーケティング施策を実行するなど、販売費及び一般管理費を効率的に活用し、2億60百万円(前年同期比22.9%増)となっております。

2014年2月に尿もれ用吸水機能付き下着「リクープ かるる」、また8月に排泄介助における尿便もれのお悩みを解決するサポート用品「尿便おしりにひろがらないシート」を発売しております。引き続き、重点カテゴリに絞った競争優位性のある新商品を投入し、また施設ルートに注力した営

業活動と施策実行を徹底してまいります。

海外事業

売上高は233億73百万円(前年同期比15.1%増)、セグメント利益は49億69百万円(前年同期比19.7%増)となりました。北米では、2014年1月から哺乳びんの本格的な販売を開始し、商品カテゴリーの拡充を図りつつ、さらなるブランド強化を進めていきます。インドでは、引き続き当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しています。今後は、販売・流通体制のさらなる強化を行い、現地工場稼働により哺乳びん・乳首をはじめとした商品の供給体制の整備を進めます。また2014年3月に、新規市場参入に向けた現地市場調査を行うため、ブラジルに連結子会社PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.を設立し、今後も事業拡大を目指した活動を行ってまいります。

中国事業

売上高は263億1百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益は、75億25百万円(前年同期比24.6%増)となりました。マーケティング、販促普及活動の継続的な強化による哺乳びん・乳首カテゴリー等の順調な伸長や、消耗商品をはじめとする既存商品の好調な販売に伴う中国国内の生産拠点の稼働向上などにより、売上高、セグメント利益ともに前年実績を上回りました。今後におきましても効果的な販促活動の実施などにより、着実な販売拡大を目指していきます。

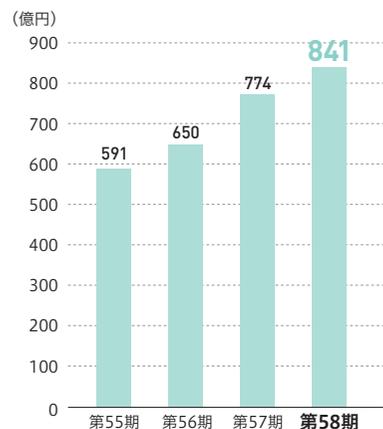
その他

売上高はOEM商品の受注が増加し、12億76百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益は1億73百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

※当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

主な経営指標

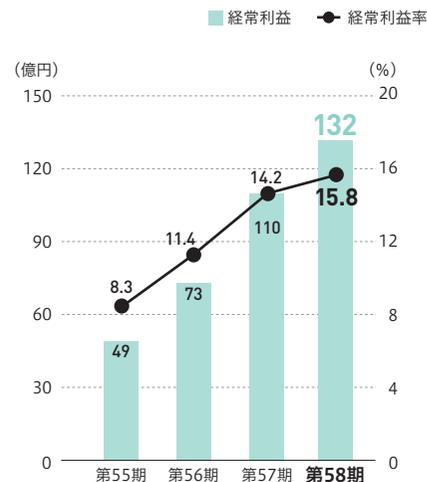
売上高



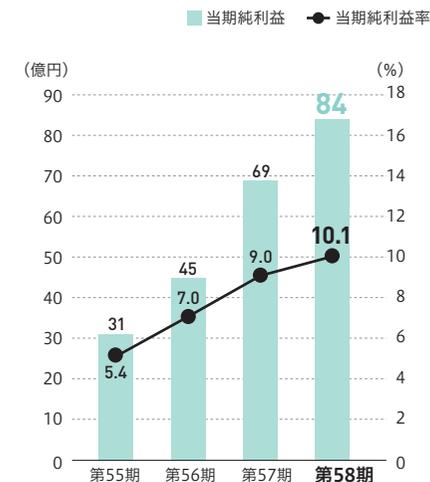
営業利益 / 営業利益率



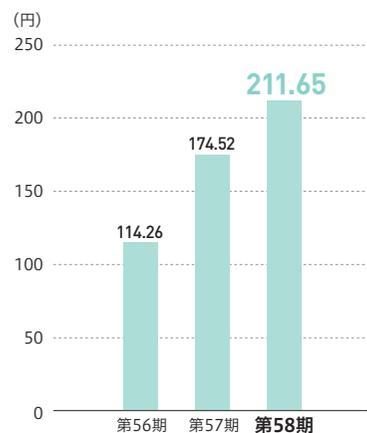
経常利益 / 経常利益率



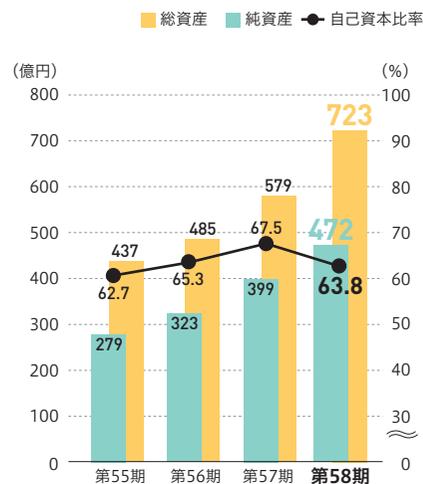
当期純利益 / 当期純利益率



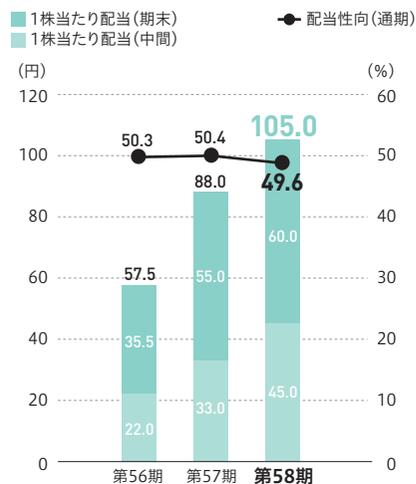
1株当たり当期純利益 (EPS)



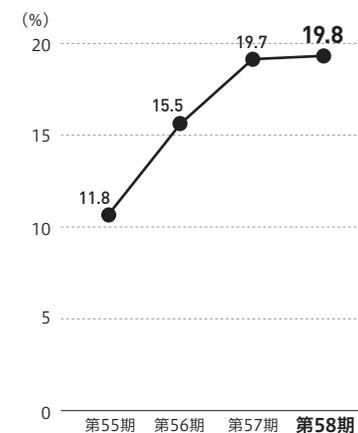
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



配当 / 配当性向



自己資本当期純利益率 (ROE)



※当社は2013年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり当期純利益、および配当につきましては、当該分割が第56期の期首に行われたと仮定して算定しております。



TOPICS

一般財団法人ピジョン奨学財団を設立

2014年10月、新生児科、小児科および産科を志す医学生に対する支援を通じて、わが国の新生児、小児、妊産婦医療の振興ならびにお母さんと赤ちゃんの健やかな生活、成長に寄与することを目指し、「一般財団法人ピジョン奨学財団」を設立しました。少子化問題を抱えるわが国の産科・小児科医療の充実・強化への貢献を通じて、誰もが安心して出産し、子育てができる社会環境の整備を目指し事業を展開してまいります。

一般財団法人ピジョン奨学財団についてはこちらをご覧ください。

<http://www.pigeon-foundation.or.jp/>

ピジョンタヒラ パートナーシップ会議を開催

2014年10月、全国の有力代理店をお招きし、「ピジョンタヒラ パートナーシップ会議2014」を開催しました。ヘルスケア・介護事業では、2014年2月より営業力強化と効率的な事業運営体制の確立を目的に、ピジョンタヒラへ事業統合し、施設・小売の両チャンネルへ同時にアプローチする営業施策を実施しています。本会議では、ピジョングループならびにピジョンタヒラの事業方針、さらには販売計画や商品・営業戦略などの説明を通じて、有力代理店の方々と販売目標などの共有を図りました。



新型ベビーカー「Runfee(ランフィ)」&新CM発表会

2014年12月、新型ベビーカー「Runfee(ランフィ)」の商品と新CM発表会を開催しました。当日は約100名の報道陣を前に、「Runfee(ランフィ)」がベビーカー所有経験のあるママの強いニーズである「段差乗り越え性」を実現していることを報告したほか、本商品のイメージタレントとしてテレビCMに起用した瀬戸朝香さんより、二児のママとしての体験談を交えたトークショーも実施しました。



インド工場完成

2014年11月、前年秋よりインド・ニューデリー近郊で建設を進めていましたインド工場が完成し、2015年3月より哺乳びん・乳首の製造を開始しました。主要販売商品の内製化を通じて、拡大するインド事業の成長を加速させていきます。



Corporate Profile

会社概要 (平成27年1月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社963名 連結3,617名(※正社員および契約社員の人数)
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200(代表)
役員	(平成27年4月28日現在) 取締役最高顧問 仲田 洋一 代表取締役会長兼取締役会議長 大越 昭夫 代表取締役社長 山下 茂 取締役専務執行役員 赤松 栄治 取締役専務執行役員(海外事業本部長) 北澤 憲政 取締役上席執行役員(ロジスティクス本部長) 甘利 和久 取締役上席執行役員 倉知 康典 取締役上席執行役員 板倉 正 取締役(社外) 新田 孝之 常勤監査役 高島 康 常勤監査役 湯田 博毅 監査役(社外) 西山 茂 監査役(社外) 出澤 秀二 執行役員(経営企画本部長) 松永 勉 執行役員(経理財務本部長) 牧 裕康 執行役員(人事総務本部長) 浦狩 高年 執行役員(開発本部長) 笠原 かほる 執行役員(品質管理本部長) 岩本 忍 執行役員(国内ベビー・ママ事業本部長) 橋本 伸行 執行役員(ヘルスケア・介護事業本部長) 石上 光志 執行役員(中国事業本部長) 賀来 健 執行役員(子育て支援事業本部長) 鶴 孝則 執行役員(PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長) 仲田 祐介 執行役員(PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA. 代表取締役社長) 増成 裕之

主要事業所

事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区

物流センター 茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

営業拠点 札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡

次の19社を連結の対象にしています。(平成27年4月28日現在)

- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON MALAYSIA(Trading) SDN. BHD.
- PIGEON(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- LANSINOH LABORATÓRIOS DO BRASIL LTDA.
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

株式の状況 (平成27年1月31日現在)

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式の総数 40,551,162株

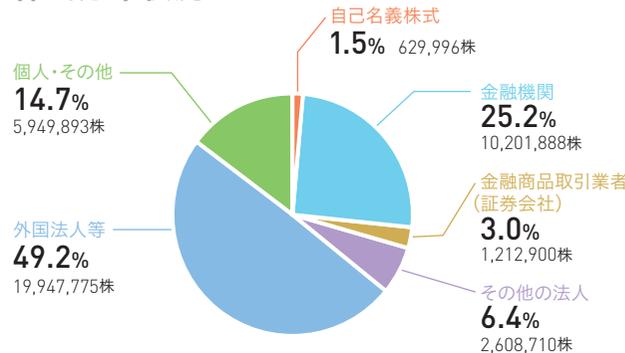
株主数 7,509名

自己株式 629,996株

大株主(上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)*
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505041	2,845	7.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,442	6.0
ビービーエイチ マシユーズ アジア デイビデンド ファンド	2,377	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,330	5.7
仲田 洋一	2,147	5.3
ビーエヌピー パリバセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパディーン グローバルクライアント アセツ	1,254	3.1
ワイ. エヌ株式会社	1,000	2.5
ステート ストリートバンク アンドトラスト カンパニー	899	2.2
ドイツ証券株式会社	843	2.0
エイチエスピーシー バンク ピーエルシー クライアント ノントラックストリーティ	756	1.9

※持株比率は自己株式(629,996株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (所有者別)



株主メモ

証券コード 7956

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主確定日 1月31日

中間配当金受領株主確定日 7月31日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同事務連絡先
(お問合せ先郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711
(通話料無料 平日9:00~17:00)
ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://www.pigeon.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよび届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

ホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ <http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品・サービスのご紹介

新型ベビーカー 「Runfee(ランフィ)」

「Runfee」は、赤ちゃんの安全性とママの押しやすさにこだわった両対面式の新型ベビーカーです。16.5cmの大径シングルエアタイヤを採用したことで、多くのママがストレスを感じていた横断歩道や店舗の入り口などにある段差をラクラクと乗り越えられるほか、5.4kgの軽量設計で、力の弱いママでもお気軽にお出かけできます。



母乳パワープラスと 母乳パワープラスタブレット

「母乳パワープラス」「母乳パワープラスタブレット」は、母乳を作るママに必要なビタミンを中心とした栄養素と母乳の栄養価をサポートできる栄養素をダブルで配合し、母乳育児中のママと赤ちゃんをサポートする商品です。また、産後ママが摂りたい栄養素のトップ3「鉄」、「カルシウム」、「葉酸」、さらに「食物繊維」を配合。形状は「錠剤」と「タブレット」の2種類があり、お好みや用途に合わせてお選びいただけます。



高齢者用車いす 「アシスタイス」シリーズ

「アシスタイス」は、座る力の弱い高齢者の身体の特徴に合わせた高齢者用車いすです。独自の設計で体側と骨盤をしっかり支えるので座った際の姿勢のくずれを防ぎ、長時間快適に過ごすことができます。また、肘掛には木を用い、茶系統の落ち着いた色合いで、ゆったりと、ご自宅のソファで過ごすような心地よさを感じていただけます。一日の大半を過ごす場所として、「アシスタイス」が高齢者の豊かな生活をサポートします。



「ピジョンインフォ」サイトリニューアル

妊娠・出産・育児中の女性と赤ちゃんの快適な生活をサポートするピジョンのクチコミ情報サイト「ピジョンインフォ」をリニューアルしました。



ピジョンインフォ

<http://pigeon.info/>

表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。

